

新パナマ運河 より良い航路

新規閘門—総括

計画によりパナマ運河の航行可能量は倍加する

主要事実	
目的	<ul style="list-style-type: none"> 顧客へのサービス改良と、需要の伸びに対応するための能力強化。 運河の競争力とパナマ経由の航行ルート of 価値を維持する。 運河の生産性、信頼性、安全と効率の改善。 運河から国庫への納付金増大。
総括	<p>計画は3つの重要な要素から構成される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3段階閘門設備2機の建設 新閘門アクセス水路の建設と既存の航行運河の拡幅及び深度増大 最大業務レベルに到達するためのガツン湖の(水面)上昇
所在地	<p>1機の閘門設備が既存のミラフローレス閘門の南西太平洋岸に配置される。もうひとつの閘門設備は、既存のガツン閘門の東側に設置される。</p>
機能方法	<p>各閘門設備は3つの異なる高さの閘室(コンクリート製の部屋)から成る。形状は既存のガツン閘門に類似している。</p> <p>計画では両側にそれぞれ1つの閘門を持つ新しいレーン(水路)が作られ、幅49m(160フィート)、長さ366m(1200フィート)、深さ15m(50フィート)、或いは17万重量トン及び12,000TEUの積載量までの船舶の処理能力を提供する。</p> <p>閘門の各閘室は水を節約するための3つの貯水槽を擁している。これにより、航行ごとに60%の水は再利用できる。2機の閘門設備のそれぞれに計9つの貯水槽が備えられるので、プロジェクト全体では18となる。各貯水槽の規模は幅約70m、深さ5.50mである。拡張運河の最大運行能力は年に約6億パナマ運河トンとなる。</p>
閘門の規模	<p>閘門の閘室の大きさは長さ427m(1400フィート)、幅55m(180フィート)、深さは18.3mである。</p>
予定	<p>2006年に国民投票で承認されれば、計画の建設工事は2007年に開始される。計画期間は2007年から2014年までの8年間であり、新しい閘門は2015年以降船舶運行に使用が開始される。</p>
経費見積もり	<p>総経費は約52億5000万米ドルと見積もられている。</p>